

# オオチャバナセセリ

チョウ目セセリチョウ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

なし

*Polytremis pellucida pellucida* (Murray)

## 選定理由

かつては、普通に見られる種でいたるところで観察されたが、1990年代から観察数が減少している。

## 形態

開張35mm程の小型種。翅表は黒褐色で後翅裏面の白斑がジグザグに並ぶ点で近似種と区別できる。

## 国内分布

北海道から九州まで広く分布するが、全国的に減少している。

## 県内分布

加賀から能登にかけて平地から山地まで広く分布し普通に観察されたが、観察数が減っている。

## 生態

年2回発生し、6月上旬から10月上旬まで観察されている。敏速に飛翔し各種の花を訪れ、特にアザミ類、ヒメジョオン、オカトラノオ、ウツボグサに集まる。幼虫は、主としてメダケやササなどタケの仲間を食べる。

## 生息地の条件

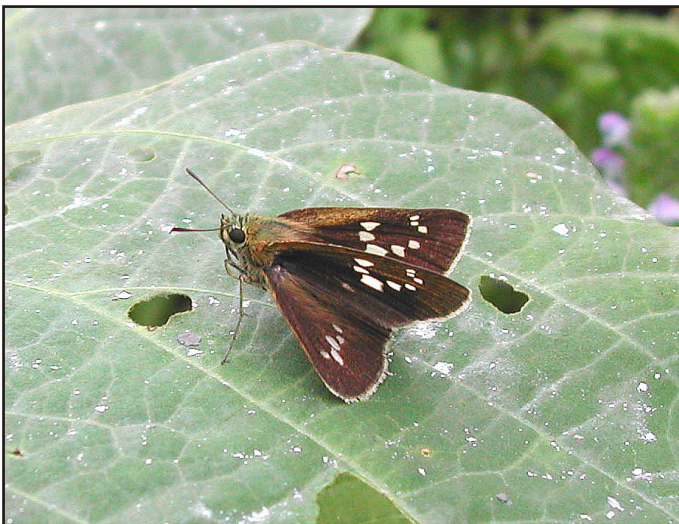
適度に人手が加わった、明るい疎林的环境と思われる。

## 生存の危機

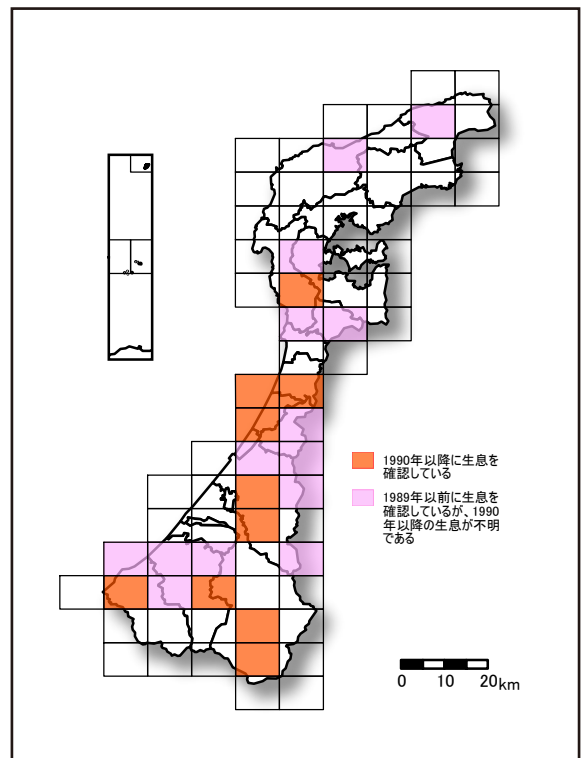
森林に人手が加わらなくなったことが影響していると思われる。(A, B)

## 参考文献

福田晴夫ほか 1984. オオチャバナセセリ. 原色日本蝶類生態図鑑 (IV) : 266-269. 保育社. 大阪.



写真提供者: 大脇淳



県内の分布